



お寺では、檀家をはじめ、ご住職様にも多大なるご協力をいただきました。



万一の失敗も許されない重要文化財の調査。緊張の瞬間です。



写真を撮影したり、大きさや構造などを詳細に記録して、万一の破損や盗難に備えます。



『祈りのよこがお—南アルプス市内仏像等悉皆調査報告書—』

平成18～22年度にかけて実施した市内の仏像等の調査報告書です。ご協力いただいた寺社に納めたほか、現在、教育委員会文化財課の窓口・ふるさと文化伝承館・安藤家住宅において一般にも販売しています。(A4版 1冊4,500円)
お問合せ/教育委員会文化財課 Tel.(282)7269



南アルプス市の仏様たち。壮麗な信仰の世界が迫ります。

祈りのよこがお

南アルプス市信仰のプロフィール

南アルプス市に人々が暮らしはじめて約2万年。悠久の歴史の中で、さまざまな信仰のかたちがのこされてきました。このうち、江戸時代以前にさかのぼるものの多くは、神社やお寺に納められています。神社やお寺は、市内で暮らしてきた方々のみならず、就職や結婚などで市を離れた人々にとっても、ふるさとの象徴として、心のよりどころのひとつとなってきました。お盆やお彼岸のお墓参り、初詣、お宮参り、そしてお葬式。人生の節目節目で我々は神仏に祈りを捧げてきました。

現在市内には、江戸時代以前から続く神社が12社、お寺は、数え方にもありますが1333カ寺あります。お寺については、近年廃寺になってしまったものや、明治維新時の廃仏毀釈(※)によって消滅したものを含めれば、かつては200をこえる数があったと推定されています。

そしてその中に納められた神仏の像は、江戸時代以前に造られたものに限っても、現在市内に2,900体あまりが存在すると推定されています。時代の新旧、技巧の巧拙はありますが、そのすべてが、人々の祈りを一身にあつめ、受け止めてきた大切な信仰の対象であり、それぞれの作例には、なによりその数だけ、そこに託された人々の想いが込められています。

教育委員会は、南アルプス市の歴史を信仰という側面から明らかにすべく、平成18年度から5ヵ年をかけて、歴史的な仏像等を中心とした調査を実施してきました。実際に調査した仏像等は2,646体に

及び、これによって南アルプス市の信仰の歴史や、豊かな精神文化の一端が明らかにされました。

一方で、この調査は、震災などによる破損や盗難に備えて、仏像等の公的なデータベースを構築するという側面もありました。大変残念なことですが、近年仏像等の盗難が全国的に増えています。このような中、調査を終えた仏像等については、万一盗難等にあっても、写真や大きさなどのデータが迅速に捜査機関に提供されるほか、運よく発見された場合も、行政(教育委員会)が第三者的な立場でお寺の所蔵を証明できるようにします。

先祖が大切に守り伝えてきた祈りのかたち。これからも大切に守り伝えられていくことを願ってやみません。普段、神様はお隠れになっていることが多いですが、お寺の仏さまの多くは、檀家であれば、お寺を訪れば拝観することができます。みなさんも自らのお寺の仏様、先祖の思いや願いが込められている「信仰のかたち」に会いに行ってみてはいかがでしょうか。

(※) 廃仏毀釈(はいぶつきしゃく) … 明治新政府による神仏分離令に伴って、神社と仏寺との間に争いが起こり、これによって引き起こされた寺院・仏具・経文などの破壊運動。